



## 関税って？

### ◆輸入品にかかる税金／輸出にブレーキの恐れ

Q－米国のトランプ大統領が関税を引き上げると言っているそうだけど、「関税」って何かしら。

A－「関税とは『外国から輸入される品物にかけられる税金』のことで、自国の産業を守ったり税収を得たりすることが目的です。関税の税率や対象となる品目は、国や品物ごとに違います。品物を輸出する国の企業ではなく、輸入する国の企業が政府に支払うものです。たとえば、今回話題になっている米国の関税では、日本から商品を輸入している米国の企業が米国政府に税金を納めるのです」



Q－米国の関税が高くなるとどうなるの。

A－「日本から米国に車を輸出する場合、これまでは関税が2・5%でしたが、4月3日から25%が追加され、計27・5%に引き上げられました。車1台が200万円だとすると、これまでの関税は5万円程度でしたが、今後は55万円ほどになります。この関税分が価格に上乗せされると、米国の消費者にとっては割高になり、買い控えが起きるかもしれません。一方、価格を据え置こうとすれば、その負担を誰がかぶるのかという問題が出てきます。米国側の輸入業者が負担するケースもありますし、日本の輸出企業に『もっと安くして』と要請が来ることもあります。結果として、輸出が減って売上げが落ち、日本企業の業績に影響するかもしれません」

Q－日本の企業にとってはビジネスに大きな影響が出てきそうですね。

A－「そうですね。車以外にも、自動車部品や工作機械、電子部品など幅広い品目が対象です。こうした品目に高い関税がかかると、日本企業の輸出全体にブレーキがかかる恐れがあります。ただ、影響の出方は業界や商品によってさまざま。米国の輸入業者や消費者との力関係、商品の競争力などによって、関税の負担が『痛み分け』になる場合もあります」

Q－私たちの生活にはどんな影響があるの。

A－「日本企業の業績が悪化すると、国内の雇用や賃金にも影響が出るかもしれません。ある民間の試算では、今回の関税措置が実施されれば、日本のGDP（国内総生産）が0・71%押し下げられるとされています。政府の想定成長率1・2%の半分以上が帳消しになるほどのインパクトです。さらに、景気の悪化が進めば株価も低迷する可能性があり、資産運用などにも影響が出るかもしれません。日米間の議論は、私たちの生活にも深くかかわる問題なのです」

（この連載は北陸経済研究所の奥田喜治が担当しました）